

2023年度

第19回みやこ祭

第3回 大学祭総会

日時：1月18日（木）

20：00～

場所：オンライン（Zoom）

項目

1. 第19回みやこ祭報告	1
(1) 企画局より	1
(2) 広報局より	7
(3) 渉外局より	8
(4) 事務局より	11
(5) 安全委員会より	14
2. その他	36

1. 第19回みやこ祭報告

(1) 企画局より

【TECHNO SQUARE】

*日時 11月2日(木)・3日(金・祝)・4日(土)

各日10:00～18:00

*場所 12号館各教室

*開催内容

研究室や学術系サークルの皆様の日頃の研究成果等を一般向けに公開していただき、本学の学術面における発表をする企画です。

*開催結果

・累計来場者数 約2,500人

様々な分野の研究内容の展示や発表を行い、老若男女問わず楽しんでいただきました。

【Music Festival】

*日時 11月3日(金・祝) 10:30～18:00

4日(土) 10:00～18:00

*場所 生協広場特設ステージ

*開催内容

本学の軽音系団体、有志個人から出演者を募り、ステージにてパフォーマンスをしていただきました。

*開催結果

・出席団体数 29

・累計来場者数 約5,000人

学生のエネルギーと音楽の力でみやこ祭を盛り上げ、来場者の方々に音楽を楽しんでいただきました。

【Projection Mapping】

<プロジェクションマッピング>

*日時 11月2日(木) 17:30~18:45

3日(金・祝) 17:30~18:45

4日(土) 17:00~18:00

*場所 1号館中庭

<インスタレーション>

*日時 11月2日(木) 13:00~17:00

3日(金・祝) 13:00~17:00

*場所 1号館103教室

*開催内容

本学システムデザイン学部インダストリアルアート学科の有志の方々に制作していただいたプロジェクションマッピングとインスタレーションを投影し、空間を彩りました。

*開催結果

・累計来場者数 4,526人(プロジェクションマッピング)

446人(インスタレーション)

プロジェクションマッピング、インスタレーションともに予定通りの投影を行うことができ、子どもから大人まで様々な年代の方に楽しんでいただきました。

【秋音祭】

*日時 11月3日(金・祝) 10:45~16:30

*場所 講堂小ホール

*開催内容

本学の9つの音楽団体の皆様によるコンサートを実施しました。

*開催結果

・累計来場者数 808人

参加団体の皆様に各々の特色を生かした素晴らしい演奏をしていただき、来場者の皆様に特別な時間をお届けすることができました。

【フリーマーケット】

*日時 11月2日(木)・3日(金・祝)・4日(土)

各日11:00～16:00

*場所 国際交流館前～11号館前並木道

*開催内容

学内外から出店者を募り、3日間を通して多くの方にフリーマーケットを出店していただきました。今年度はNPO団体にも参加していただきました。

*開催結果

<出店数>

・1日目:20

・2日目:52

・3日目:55

<来場者数>

・1日目:約3,000人

・2日目:約6,000人

・3日目:約5,000人

初日は平日ということもありまずまずのスタートでしたが、2日目・3日目は出店数、来場者数ともに大幅に増加し大学祭を盛り上げる企画としての役割を果たすことができました。また、地域の方々にも出店をしていただき、コロナ禍で希薄になっていた地域の方々との交流を深めることができました。

【公開講義】

*日時 11月2日(木)・11月4日(土)
12:00～13:00 / 14:30～15:30 / 17:00～18:00

*場所 1号館110教室

*開催内容

桶舎典哲先生、樋口貴広先生、綾部真雄先生、高橋日出男先生、福田貴成先生、伊藤隆先生の6名をお招きし、地域の方や高校生を対象とした講義をしていただきました。

*開催結果

・累計来場者数 302人

地域の方々の学問への関心を深めるのに役立ちました。また、これから大学に入学する高校生の志望校選びや、本学を志望する高校生の入学後の教室選びの参考になるような講義を、老若男女問わず多くの方に体験していただきました。

【こども実験教室】

*日時 11月3日(金・祝)・4日(土)
10:30～ / 11:20～ / 13:00～ / 13:50～ /
14:40～ / 15:30～ / 16:20～ (各日全7回)

*場所 11号館101教室・102教室

*開催内容

『まるで火山！ブクブク噴火実験』と『ワクワク不思議なスライム作り』の2つの子ども向けの実験を実施しました。

*開催結果

・累計来場者数 約400人

子どもたちだけでなく、その保護者の方にも楽しんでいただくことができました。

【キャンパスツアー】

*日時 11月3日（金・祝）・4日（土）
10：30～／11：50～／13：10～／14：30～
15：50～／17：10～（各日全6回）

*受付場所 本部テント

*開催内容

幅広い年代の参加者に本学南大沢キャンパスの魅力を伝えると同時に、本学での学生生活をより身近に感じていただくため、総合・文系・理系の3種類のツアーを用意しました。

- ・総合型ツアー 構内の施設を満遍なく紹介するツアー
- ・理系型ツアー 構内の主要施設と理系の学生が使用する施設を紹介するツアー
- ・文系型ツアー 構内の主要施設と文系の学生が使用する施設を紹介するツアー

*開催結果

- ・累計来場者数 206人

単純な大学の紹介だけでなく、大学生目線で見た本学の魅力や学生生活について伝えることができ、参加者の方に楽しんでいただきました。

【講演会（お笑いライブ）】

*日時 11月3日（金・祝）15：00～16：00

*場所 講堂大ホール

*開催内容

ゲストにお笑い芸人の囲碁将棋さん、ジェラードンさん、オダウエダさんをお呼びし、お笑いライブを開催しました。また、本学のお笑いサークルの方に依頼をし、前説を行っていただきました。

*開催結果

- ・累計来場者数 1,122人

お笑いライブ後に受け取った来場者からの声として、「とても満足した」や「楽しかった」等がありました。また、サインプレゼント抽選等を通して、講演会の目的である「日常では得られないエンターテインメントを提供する」が実現できました。

【ゲンキダーJたちのわくわくヒーローショー】

*日時 11月4日(土) 14:00~15:00

*場所 空の目門前特設ステージ

*開催内容

八王子観光PR特使であるゲンキダーJをはじめ、バスターフラッシュやグランマサラ一等のヒーローをお呼びし、ヒーローショーを行いました。また「ぼくらの八王子」を子どもたちと一緒に踊ったほか、ヒーローたちとの写真撮影、握手会も行いました。

*開催結果

・累計来場者数 約270人

たくさん子どもやご家族に楽しんでいただきました。来場者の方々が八王子市のヒーローに慣れ親しむことで、八王子市のことをより知っていただける機会を提供することができました。

【花火】

*日時 11月4日(土) 18:30~18:40

*観覧場所 多目的運動場

*打ち上げ場所 野球場

*開催内容

大学祭のフィナーレとして野球場にて花火を打ち上げました。

*開催結果

・累計来場者数 1,435人(多目的運動場内のみ)

予定より10分遅れ、18:40からの打ち上げ開始とはなりましたが、無事打ち上げに成功し、多くの来場者に楽しんでいただきました。

(2) 広報局より

【来場者動員数】

今年度の大学祭の来場者数を南門で計上しました。

日付	来場者数 (人)
11月2日 (木)	4, 423
11月3日 (金・祝)	14, 020
11月4日 (土)	12, 860
合計	31, 303

(3) 渉外局より

【協賛】

*活動内容

大学周辺の企業様や、大学祭への支援実績のある企業様にコンタクトを取り、様々な形での協賛をお願いしました。

*活動結果

- ・物品協賛 36社
- ・広告協賛 12社
- ・協賛金提供 8社

今年度の大学祭も、多くの企業様からのご支援を賜りました。昨年度とほぼ同数の企業様にご協賛いただき、その中には新規のご支援も含まれております。いただいた協賛物品や協賛金は、大学祭内での景品や参加賞、本部企画の運営費用等に活用しました。

【地域広告】

*活動内容

南大沢周辺の様々な企業様へ大学祭の趣旨の説明および協賛のお願いをしました。

*活動結果

約15万円の協賛金のご支援を賜りました。

【音響】

*活動内容

空の目門前特設ステージ、生協広場特設ステージ、Projection Mappingの音響操作、監督を行いました。

*活動結果

すべての企画で多くの来場者の方々に参加していただき、楽しませることができました。また、参加していただいた団体の発表をしっかりとサポートする事ができました。

【スタンプラリー】

<みやこ祭オリジナルスタンプラリー>

*活動内容

本学構内の建物や場所をモチーフにした6個のスタンプを構内各所に設置し、すべて集めた参加者の方には景品を贈呈しました。

*活動結果

子どもをはじめとした多くの来場者に参加していただきました。

<他大学と合同のスタンプラリー>

*活動内容

みやこ祭のマスコットキャラクターをデザインしたスタンプと手持ち看板を作成し、大学祭本部前に設置しました。

*活動結果

多くの来場者に参加していただきました。加えて、多くの方々に手持ち看板を用いて撮影していただくことができました。

【案内看板】

*活動内容

大学構内に設置する様々な看板の製作や設置を行いました。

*活動結果

予定通りに製作、設置し、撤去まで完了しました。

【放送】

*活動内容

1号館テラス～図書館前に放送機材を設置し、迷子案内、大学祭本部・安全委員会本部からの注意事項、参加団体と大学祭本部企画の宣伝等の構内放送を実施しました。

*活動結果

今年度は上記に加え、みやこ祭当日のスズメバチの発生や人員整理等の緊急の対応に関しても迅速に放送したことで、安全で円滑な運営に尽力しました。

【マスコットキャラクター】

*活動内容

「0」というスローガンに込められた、新しい大学祭を作るという理念から、みやこ祭を象徴する存在としてマスコットを制作しました。

*活動結果

本学学生を対象にデザイン案を公募し、「みやさん&ポポ太郎」をみやこ祭のマスコットキャラクターと決定しました。ホームページやSNSの広報活動に使用したほか、本部テント前にキャラクターをデザインした看板を作り撮影スポットとしました。また、スタンプラリーの景品としてマスコットキャラクターのステッカーを制作しました。

【本部テント】

*活動内容

来場者へのパンフレット配布、来場者アンケートおよびスタンプラリーの景品贈呈、質問対応等を行いました。

*活動結果

パンフレット、来場者アンケートの景品は、1日ごとに定めた目標配布数を配布しました。来場者数は予想を上回り、スタンプラリーの景品の数が不足するほどの盛況を見せました。

(4) 事務局より

【経過報告】

日付	会議	内容
5月11日(木)	第1回 大学祭総会	第18回みやこ祭報告 役員・実行委員選挙
5月25日(木)	第1回 みやこ祭参加準備会議	開催形態について 参加申請受付開始
6月15日(木)	第2回 みやこ祭参加準備会議	本部企画・宣伝企画 参加申請受付開始
6月29日(木)	第2回 大学祭総会	参加企画承認
7月11日(火)	第1回 部屋割会議	共有営業団体決定
7月20日(木)	第1回 模擬店設置会議	模擬店参加について
8月1日(月)	第2回 部屋割会議	部屋割決定
8月14日(月)	タイムテーブル会議	タイムテーブル案決定 控室・リハーサル申請
8月31日(木)	第3回 みやこ祭参加準備会議	参加にあたる諸注意
	第2回 模擬店設置会議	模擬店設置場所決定
9月21日(木)	第4回 みやこ祭参加準備会議	参加にあたる諸注意
	第3回 模擬店設置会議	各申請について
10月4日(水)	第2次申請個別折衝	第2次申請配布の調整
	立て看板設置会議	立て看板設置場所抽選
10月9日(月・祝)	第5回 みやこ祭参加準備会議	大学祭期間について
	第4回 模擬店設置会議	各物品について
11月1日(水)	全体準備会議	当日準備について
11月5日(日)	全体後片付け会議	当日後片付けについて
12月14日(木)	報告会議	第19回みやこ祭報告
1月18日(木)	第3回 大学祭総会	第19回みやこ祭報告

【各参加団体数（延べ数）】

参加形態	団体数
屋内参加団体	40
模擬店参加団体	63
特別参加団体	16
参加団体総数	102

※ 複数の参加形態にて参加している団体もいるため、「参加団体総数」は各参加形態の団体数の合計とは異なります。

【各種報告】

*各種会議の案内

大学祭に関連する様々な会議を開催するにあたって、団体の代表者に会議のお知らせをメール等にて送信しました。しかし、今年度は団体内の引継ぎ不足による会議の周知漏れがありました。来年度以降はメールでの案内が行き渡るよう、団体への周知に努めます。

*模擬店設置場所決定

模擬店参加団体の模擬店設置場所を、抽選により決定しました。しかし、当日は類似食品を販売する模擬店同士が隣り合っていたことによるトラブルが発生したため、来年度以降は販売食品も考慮して設置場所を決定します。

*物件配布

1号館・7号館を使用する屋内参加団体および講堂・イベントステージを使用する特別参加団体に、机・椅子等の物件を配布しました。各物件は汚損・破損に注意し、各施設内でのみ使用することを徹底しました。

***屋内電力配布**

電気トラブルを防ぐため、1号館・7号館使用団体が使用する電力を割り振りしました。当日は電気トラブルが発生したため、来年度以降は当日の見回り等を実施しトラブル防止に努めます。

***立て看板配布**

屋内参加団体・特別参加団体のうち、立て看板の使用希望団体に設置場所を指定して立て看板を配布しました。

***備品配付**

各種備品を使用希望団体に使用日時・個数を指定して貸し出しました。

***解錠・施錠**

1号館・7号館、講堂等の教室・控え室の解錠と施錠を行いました。

(5) 安全委員会より

【活動報告】

〈1〉安全防災について

大学祭期間中の「会場管理・安全確保」のため、今年度も安全委員会を設置し、活動しました。この「会場管理・安全確保」の実現には、大学祭参加者の安全に対する意識が重要だと考えられます。そのため安全委員会では、安全に対する参加団体の意識向上に努め、大学祭の理念である「自主管理・自主運営」を行えるように働きかけました。

「大学祭期間中における違反事項に関する条規」「安全防災規約」を提示し、これらの条規・規約に沿って活動しました。

各参加団体から1名ずつ安全管理責任者を選出していただき、10月に実施した「安全管理責任者会議」にて、その役割について説明しました。また、規約およびその他の注意事項の内容について全団体に誓約書の提出を求め、注意事項の遵守にご協力いただきました。

大学祭期間中における「会場管理・安全確保」のための計画を作成しました。

学生ホール233資料作成室に安全委員会本部を設置し、常時待機者を置きました。

大学祭期間中の安全防災に関する注意事項をまとめた「安全防災マニュアル」、緊急時の連絡手順を明確化した「緊急時の対応について」を配布し、大学祭期間中は必ず団体の全員が参照できる場所に置いていただきました。

消防署に「模擬店開催届」「防火対象物使用届（講堂）」「講堂避難体制」「緊急連絡体制」を提出し、消防署の方から指導をいただきました。

参加団体に安全に火気を使用していただくため、火気の使用開始前に安全委員会がチェックを行いました。

アレルギー品目チェックラミネートを食品販売団体に配布し掲示していただくことで、アレルギーをお持ちの来場者に対して注意喚起を行いました。

〈2〉清掃・ごみ処理について

大学祭期間中の清掃・ごみ処理について主に以下のことを行いました。

- ・仮設ごみ箱の設置と5種類の分別の徹底
- ・各フロア・ブロックの清掃状況を管理する代表団体の選出
- ・トイレ・流し場清掃、ごみ箱の管理をする団体の割り振り
- ・仮設ごみ集積所の設置とごみの回収

〈3〉夜間退構について

今年度は「20：00に片付け開始、21：00までに行事終了、21：30までに構内から完全退構する」という条規・体制のもと大学祭を行いました。

夜間は、インフォメーションギャラリー入口・生協門前・牧野標本館前に常時待機者を置き、夜間の大学への入構を制限しました。

〈4〉施設使用・管理について

ビラや立て看板が汚損・破損の原因とならないよう努めました。また、学生自治会の東京都立大学南大沢キャンパス 学生専用掲示板管理規則に従ってビラや掲示物の管理を行いました。

屋内の装飾には養生テープ・マスキングテープのみ使用を認め、各所にテープ跡が残らないよう努めました。

大学祭前後に1号館・7号館・11号館・12号館の教室内、AV棟2階ロビーおよび講堂の大ホール・小ホールの汚損・破損状況を確認しました。また新たな汚損・破損がないかを確認するために、各参加団体に汚損・破損チェック、原状復帰チェックを行っていただきました。

汚損・破損対策として補償金・供託金制度を設け、施設の使用方法や汚損・破損に注意していただき、原状復帰ができるよう対策しました。

〈5〉 駐車・駐輪規制について

大学祭期間中は原則、安全委員会の発行した臨時入構許可証を所持した車両のみの入退構を認め、車両を管理しました。

例年問題となっている大学周辺の公道での路上駐車は、巡回によって対応しました。

大学祭期間中の安全や汚損・破損防止の観点から、自転車通行禁止エリアへの自転車の侵入を巡回によって防ぎました。

【「大学祭における安全に関する意識調査」の結果報告】

2023年11月20日（月）～11月25日（土）に行った「大学祭における安全に関する意識調査①」および12月14日（木）～12月28日（木）に行った「大学祭における安全に関する意識調査②」の結果を報告します。

〈1〉実施理由

第19回みやこ祭において発生した火災・盗難等の事件を受けて参加団体の皆様が準備期間および当日どのような安全対策を行っていたのか等を調査し、来年度以降の大学祭運営に反映させるために実施しました。また、プロパンガスや電気の使い方に関して詳細に知るために、追加調査を行いました。

今回の調査結果は大学に報告するとともに、今後の安全委員会が活動をする上での参考にさせていただきます。

〈2〉回答数

安全に関する意識調査①

	模擬店参加	屋内参加	特別参加
全体の団体数	63（火気使用団体52）	40	16
回答した団体数	51（火気使用団体42）	36	13

安全に関する意識調査②（特別参加団体は対象外）

	模擬店参加	屋内参加
全体の団体数	63（火気使用団体52）	40
回答した団体数	35（火気使用団体29）	21

〈3〉 回答内容（模擬店参加団体）

安全に関する意識調査①

① 火気周辺に燃えやすいものを置いていませんでしたか。（火気使用団体のみ）

はい 41団体 いいえ 1団体

② 火器使用にあたって、周囲に準備すべきもの（風よけ、消火用バケツ、断熱材または不燃シート）をはじめから準備していましたか。（火気使用団体のみ）

はい 41団体 いいえ 1団体

「いいえ」と答えた理由

→ 風よけ（初日に使用していた際には問題ないとされたが、2日目の早朝に指導を受けた。）

③ 消火器の位置は把握していましたか。

はい 40団体 いいえ 11団体

④ 模擬店テント内でどのような火器を使用しましたか。（火気使用団体のみ）

→ プロパンガス、発電機、ガスコンロ、カセットコンロ、ワッフルメーカー、ホットプレート、フライヤー、台付鉄板焼器、おでん鍋、わたあめ機、焼き鳥器、鉄板、たいやき器、業務用五徳

→ 申請外の火気を使用していた団体 1団体

⑤ 食品取扱申請書に則り、営業していましたか。（当日テント内で行ったことを回答していただきました。）

→ 50団体が申請に則り、調理をしていたと回答した
しかし、禁止行為が見られる場面もあった

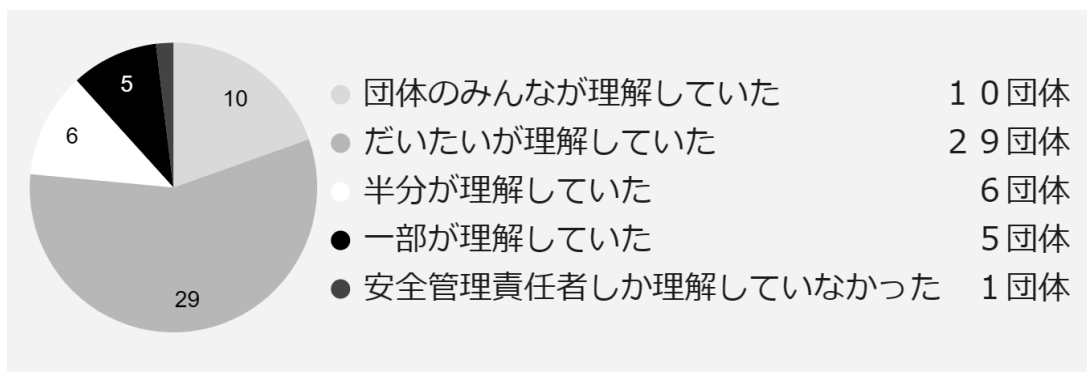
安全委員会が発見した調理上の禁止行為

- ・ 食材の常温放置
- ・ 常温放置による食材の解凍
- ・ 加熱調理をしない食材のカット

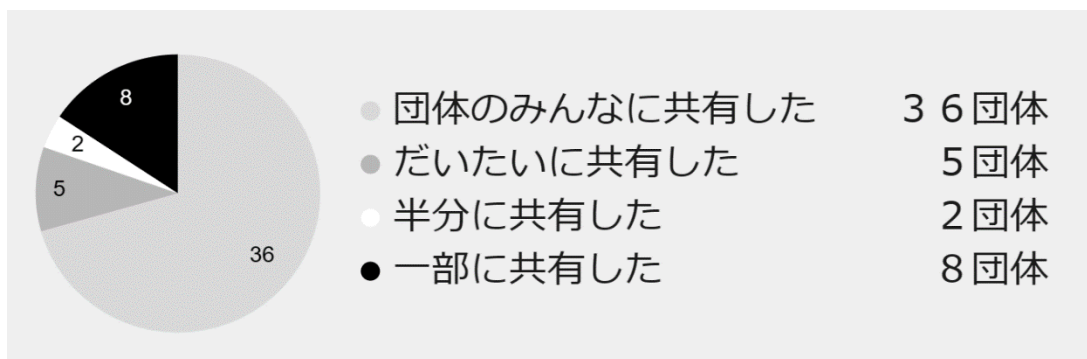
⑥ 貴重品を持ち歩いていたか。

はい 45団体 いいえ 6団体

⑦ マニュアル内容を理解していましたか。



⑧ 団体内で安全管理責任者会議資料の共有をしましたか。



⑨ 盗難に遭わないために独自に対策をしていましたか。

→・荷物の近くに常に人を置いていた

- ・部室に置き、施錠した
- ・テント内のベンチの下に荷物を入れるようにしていた
- ・貴重品は基本的に全員身につけていた
- ・外部の人の手が届かないよう、なるべく模擬店の内側に荷物を置いた
- ・貴重品を段ボールに集めて上から上着を被せ、常に自分たちの目に触れるところ（会計系の足元）に置いた
- ・全員のバッグを集めて紐でくくった

安全に関する意識調査②

① 今回の事故により、学生による大学祭の「自主管理・自主運営」の継続が検討されています。それを受けて、運営する当事者として今後のみやこ祭開催に対してどのように考えていますか。

- ・火器等の取扱についての事前の指導や安全管理体制を厳格化し、開催して欲しい
- ・安全管理を徹底するから今後も変わらずみやこ祭を開催したい
 - ・安全管理徹底の上、例年通り実施したい
 - ・今年度と変わりなく開催したいが、そのためには各団体が安全管理を徹底すべきである
 - ・安全管理に関する確認が形骸化されていることを認識し、改善する必要がある

等

② 火器の使い方が分からなかった、理解するまで時間がかかったことはありましたか。
あった 3団体 なかった 32団体

解決方法

→・動画を見て対処した

- ・説明書を見つけて読んだ
- ・ネットで調べた

③ プロパンガスボンベの貸出は学生ホールで行っていましたが、学生ホールから自身のテントまではどのようにプロパンガスボンベを運んでいましたか。

(回答したプロパンガス使用団体は24団体)

手で運んだ 21団体 台車で運んだ 3団体

④ プロパンガスボンベはテント内のどのあたりに置いていましたか。

→ テント後方の足にビニール紐で結んで置いていた

テント前方の足付近に置いていた

等

⑤ プロパンガスボンベを取り扱う際に特に何に注意しましたか。

→ ・ボンベをテントの足にビニール紐で結び固定していた

・足を引っかけないようにホースを養生テープでテント下の段ボールに固定した

・元栓が緩んでいないか頻繁に確認した

・火元から離して設置した

・設置状況を定期的に確認していた

等

⑥ プロパンガスボンベに異変や気になったことはありましたか。

(回答したプロパンガス使用団体は24団体)

あった 2団体 なかった 22団体

具体的な内容

→ ・調整器が緩んでいた

・火力が弱まることがあった

⑦ 今回の火災を通して、どのような対策が必要だと思いますか。

→ ・プロパンガスの使い方について講習会を開いてほしい

・プロパンガスの使い方についてのマニュアルを作成してほしい

・各団体内で情報を周知して、みんなが理解する

・全員の安全管理の意識を高めるとともに、責任者として現場の管理を行う人を
2人以上設ける

・申請したものしか使わないように厳しく審査する

等

〈4〉 回答内容（屋内参加団体）

安全に関する意識調査①

① 使用教室の使用可能電力量を理解していましたか。

はい 36団体 いいえ 0団体

② 企画中にどのような電気製品を使用していましたか。

（当日使用した電気製品を回答していただきました。）

→ 充電コード、電工ドラム、スピーカー、照明機器、卓ミキサー、パワーアンプ、モニター、パソコン、湯沸かし用ポット、保温用電熱機、冷蔵庫、プロジェクター、電子レンジ、電気ポット、コーヒーメーカー、電動ポンプ、小型ライト、早押し機、オープンレンジ、電動鉛筆削り、Nintendo Switch(充電) 等

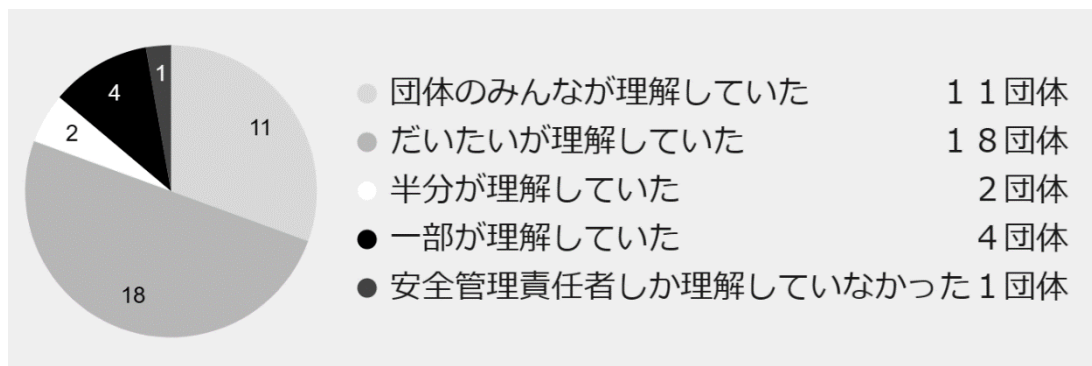
実行委員会が把握していない電気製品を使用していた団体 3団体

- ・申請していたプロジェクター（300W）をモニター（推定100～200W）に変更
- ・電動鉛筆削り機（推定20～30W）
- ・電気ポット（推定1, 300W）
- ・コーヒーメーカー（推定600W）

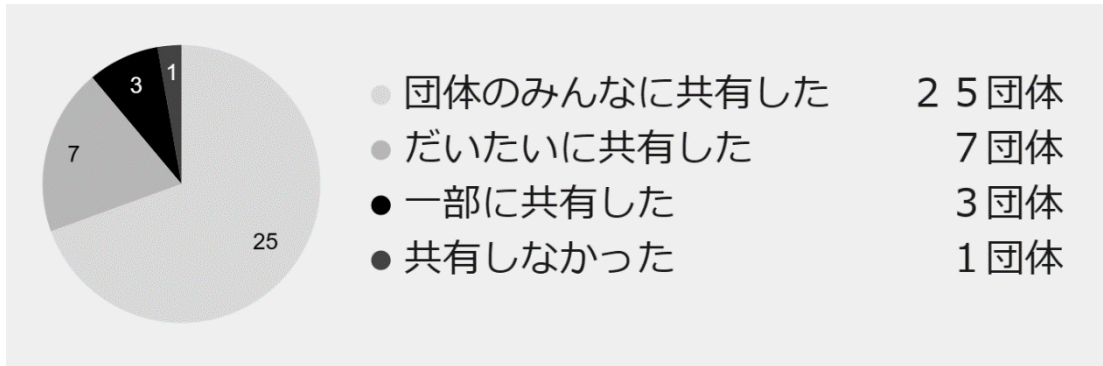
③ 貴重品は持ち歩いていましたか。

はい 36団体 いいえ 0団体

④ マニュアルの内容を理解していましたか。



⑤ 団体内で安全管理責任者会議資料の共有をしましたか。



⑥ 盗難に遭わないために独自に対策をしてしまいましたか。

-
- ・ 貴重品は持ち歩くよう呼びかけていた
 - ・ 教室内に団体の人間を常時待機させた
 - ・ 部員しか入れない場所を作り、貴重品以外の荷物を置いた。そして、そこに部員を常駐させた
 - ・ 荷物を目に届く場所や1ヶ所においた
 - ・ 貴重品は極力持ち込まず、部室で保管するよう呼びかけた

安全に関する意識調査②

① 今回の事故により、学生による大学祭の「自主管理・自主運営」の継続が検討されています。それを受けて、皆様は大学祭を運営する当事者として今後のみやこ祭開催に対してどのように考えていますか。

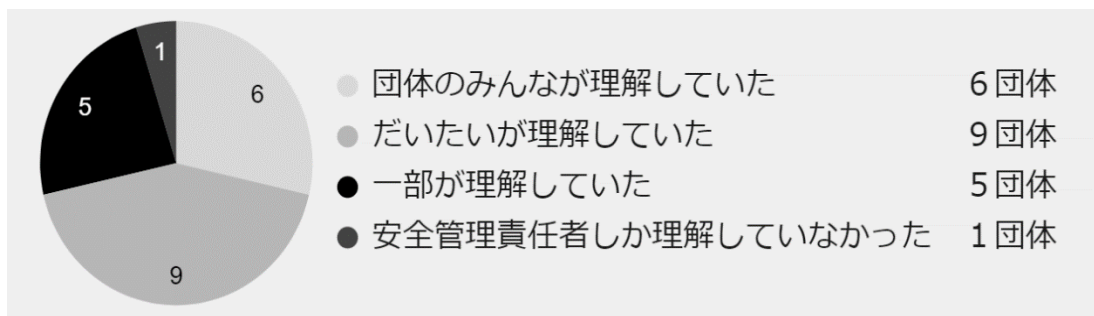
-
- ・電力使用者が安全管理に対するしっかりとした意識を持つ必要がある。その上で今後もみやこ祭りを続けたい。
 - ・各団体が、部内に安全管理意識を今よりも周知する必要があると感じた。
 - ・今回の事故により、安全管理の重要性をより身に染みて実感した。この意識を保ち続け、次の世代のみやこ祭も今回と同じように広い裁量で開催できるようにしたい。
 - ・安全管理を今までよりも十分に行うこと、安全管理に必要な知識を改めて確認すること等を徹底し、来年以降も今まで通りのみやこ祭が開催されることを期待している

等

② 各団体が割り振られた教室の使用可能な電力量は何で知りましたか。

教室内のビラ	5 団体
委員からの説明	14 団体
事前の個別折衝	1 団体
事前の申請	1 団体

③ 使用可能な電力量はどの程度団体内で理解されていきましたか。



④ 仮設電線について何か疑問に感じたことはありましたか。(4団体があると回答)

- ・自団体がメインで使おうとしていたコンセントが他団体への電力供給のため占領されていた
- ・着物で跨ぐことができず、運営に支障をきたす状態で設置されていた
- ・コードに年季が入っていた
- ・絡まって設置されていた

⑤ そのことは大学祭実行委員会に伝えましたか。

伝えた 2団体

伝えていない 2団体

理由

- ・特段の危険はないと判断したから
- ・運営に必死で報告する余裕がなかったから

⑥ 今回は使用電力の超過と発火の危険性のある方法による仮設電線の設置によって、火災が発生しました。それを踏まえて、今後はどのような対策を取るべきだと思いますか。

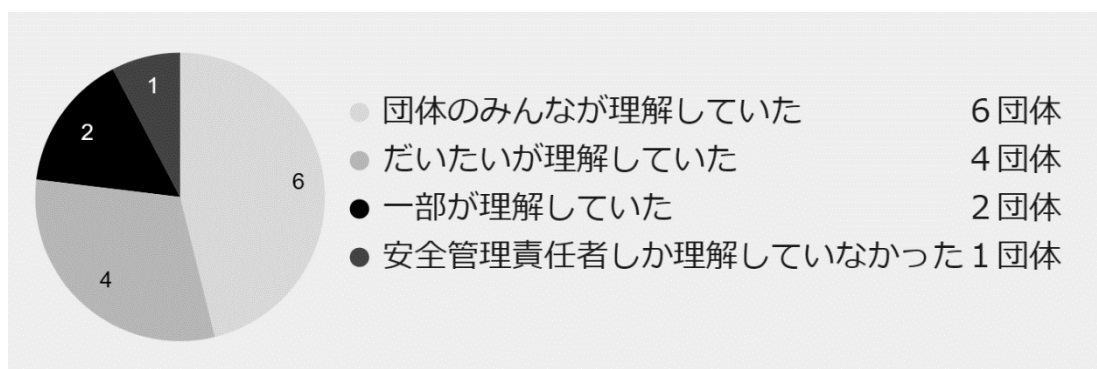
- ・使用電力の厳守を今年度も厳しくしていたと思うがもっと厳しくすべき
- ・ライブ等の使用電力が多く見込まれるイベントの停止
- ・仮設電線を廃止し、備え付けのコンセントまたは発電機のみ利用に制限
- ・使用電力量の内訳を明記したシートを各団体に配布し、教室内掲示を義務づける
- ・コードに使用開始日を書いて管理をする

〈5〉 回答内容（特別参加団体）

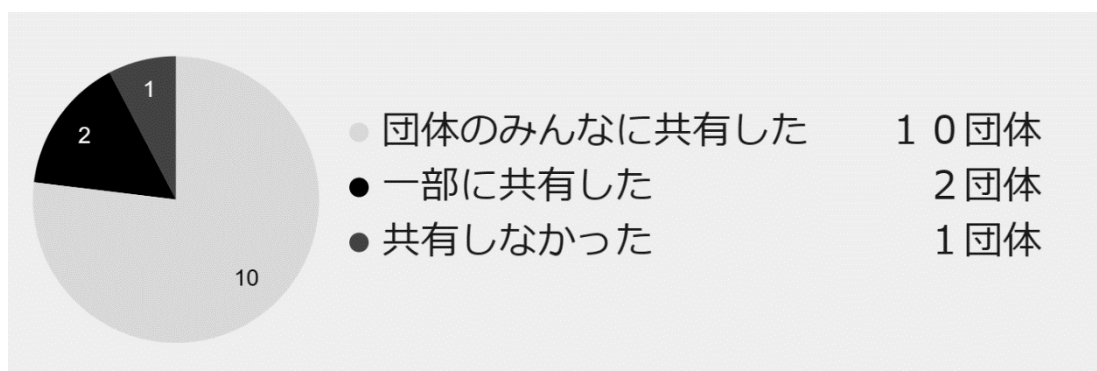
① 貴重品（財布、クレジットカード等）は持ち歩いていましたか。

はい 13団体 いいえ 0団体

② マニュアルの内容を理解していましたか。



③ 団体内で安全管理責任者会議の資料を共有しましたか。



④ 盗難に遭わないために独自に対策をしていましたか。

- 演奏直前などどうしても貴重品をどこかに置いておかなければならない時は、施錠した
- ・ できる部室に置くように注意喚起をした
- ・ 団体内に荷物管理の呼びかけ、連絡をした
- ・ 控室は施錠した

〈6〉 結果

① 全体

- ・マニュアルの内容はおおよそ共有できていた
- ・会議資料、マニュアルは共有していただけたが全員に読んでいただけたわけではない
- ・盗難対策をしている団体とそうでない団体の差が見られた
- ・来年度以降の大学祭開催について、安全管理を徹底するので例年通りにさせてほしい等の声が多かった

② 模擬店参加

- ・火気チェックにて注意した点については、多くの団体が守っていた
- ・多くの団体は自身の周囲にある消火器の位置を把握していた
- ・申請外の火器を使用していた団体があった
- ・食品衛生上、不適切な食品の取扱いがあった
- ・火器の使い方が分からなかったが自分たちで調べて使用していた団体がいた
- ・団体独自にプロパンガスが安全に使用できるかを確認している団体がいた
- ・プロパンガスの異変を感じた団体がいた

③ 屋内参加

- ・申請外の電気製品を使用していた団体があった
- ・使用可能電力の周知に大学祭実行委員による声かけが効果的であることがわかった
- ・使用可能電力については多くの団体がおおよそ理解していた
- ・コードについて危険を感じていた人はいたが、忙しい等の理由から報告されないことがあった
- ・屋内でのライブをやめるべきとの声もあった

④ 特別参加

- ・①全体に同じ

〈7〉安全委員会への質問、要望

- ・火器講習を実施してほしい。

→ 火気使用によるリスクを抑えることのできる有効な手段であるため、大学生協等と相談し検討させていただきます。

- ・安全管理責任者を増員してほしい。

→ 参加団体の参加意欲や安全への意識向上のため、前向きに検討させていただきます。

- ・安全委員会が個別対応をする際は、その団体に連絡することを徹底してほしい。

→ 今年度の反省として受け止め、今後に活かします。

- ・安全委員会の電話番号を周知してほしい。

→ 今年度は各団体への個別連絡が多く、安全委員会の人員の関係から事前に周知していた電話番号ではない番号で連絡することが多々ありました。来年度は事前に周知する電話番号を増やし、会議等で周知に努めます。

- ・喫煙所を開放してほしい。

→ 大学側の意向により、今年度は喫煙所を全面封鎖しました。来年度の対応については大学側と協議の上で判断させていただきます。

- ・ゴミ袋を各部屋に設けると指示していたが、それを確認せず、また設置していない団体に対しても注意しないのはなぜか。

→ ごみ袋に関しては、大学施設の汚損を防ぐために指示していました。そのため、著しい汚損等の恐れが低いと判断した教室については注意しませんでした。

- ・ 1号館1号館は電気の総使用量が逼迫していたようだが、個別折衝の際、一団体が使うには

明らかに過剰に申請しているところがあった。(うちが160Wに対してそこは3000W超えだったと思う)申請したらその通りではなく、もう少し少ない量を申請するように指導するなどの対策が必要だったと思う。

- 3,000Wで申請していた団体は屋内ライブを行う団体であり、大学祭実行委員会の担当者と調整を行った上での電力数ですので過剰であったという可能性は低いと考えられます。しかし、1号館内の電力が逼迫していたのは事実ですので、来年度以降は企画自体の見直し等も踏まえた上で対応を検討中です。

- ・ 上の設問で資料を団体間で共有したかというものがあつたが、その資料も会議後訂正したものが送られてから共有しろということだったのに、開催1週間前になるまで全く配信されなかった。安全委員会自体の運営体制に問題はなかったのかを厳しく追求してほしい。

- 会議資料の共有が遅れたことについては開催直前まで変更点が多く、資料を確定させることができませんでした。こちらから周知のお願いしたにもかかわらず資料の送付が遅くなってしまい、ご迷惑をおかけしたことお詫びいたします。来年度以降は訂正資料を送る際は期限を設け、それまでに確定しない事項については追加資料という形で後日共有する等の対策を考えます。また、安全委員会の運営体制についても今年度の反省を踏まえた上で改善し、来年度以降は皆様にご理解・ご協力をいただけるような運営に努めてまいります。

〈8〉改善点

① 全体

- ・ 会議資料やマニュアルの内容を団体内で共有していただくために、メールでの送付を円滑に行う
- ・ 盗難対策の程度が団体間で異なるため、安全委員会が全団体に向けた統一的な対策を検討する。
- ・ 安全委員会の連絡先の周知を徹底する
- ・ 個別対応をした団体への連絡を徹底する
- ・ 各団体に、運営する当事者として意識を持ちつつうで安全管理や運営をすることを徹底させる

② 模擬店参加

- ・ 火気チェックについて、火災防止の対策として十分でない可能性があるため、項目を改善する。
- ・ 消火器の位置について会議等で周知する
- ・ 申請外の火器使用を禁止するために、巡回で実際に使用している火器を確認する
- ・ 火器の申請を受理する前に大学祭実行委員会だけでなく、安全委員会でも確認をする
- ・ 食品取扱についての周知項目に解凍方法等を追加する

③ 屋内参加

- ・ 委員による呼びかけによる使用電力量の周知を徹底する
- ・ 申請外の電気製品の使用を禁止するために、巡回で実際に使用している電気製品を確認する
- ・ 電気製品の申請を受理する前に大学祭実行委員会だけでなく、安全委員会でも確認をする

④ 特別参加

- ・ ①全体に同じ

【今年度の反省】

〈1〉火災について

大学祭3日目に、1号館302教室および図書館前の模擬店において火災が発生しました。原因・対策に関しては、以下の通りです。

[原因]

- ・1号館火災：電力の超過使用、発火につながりやすい方法での仮設電線の設置
→事前の注意事項等の周知は、大学祭実行委員会に一任しており、安全管理責任者会議などで周知していませんでした。
- ・模擬店火災：プロパンガスボンベの調整器のゆるみ
→事前に火気使用上の注意事項の周知や安全委員会による火気チェック等の対策を講じましたが、不十分でした。

[対策]

安全委員会は、この事態を重く受け止め、大学祭における火気使用・電気使用について再度検討すると共に、八王子消防署柚木分署に協力を仰ぎ、火気使用の体制の見直しに努めます。来年度からの対策としては、大学祭実行委員会と連携して火気チェックの厳重化を行い、安全な火気使用の徹底に努めます。また、電気使用に関しても当日の巡回による声かけ等を行い、安全な電気使用の徹底に努めます。

〈2〉盗難について

会議での注意事項の周知や「緊急時の対応について」の配布による連絡手順の明確化等の対策を講じましたが、3件の盗難事件が発生しました。

うち1件については模擬店参加団体が盗難に遭い、警察が出動する事態となりました。事前に緊急時は安全委員会に連絡するように周知していましたが、安全委員会への連絡はされませんでした。原因は、団体内での共有不足であると考えられます。

残りの2件については、来場者として来ていた学内者が被害に遭いました。参加団体には注意事項の周知は行っていましたが、来場者や本部企画参加団体に対しては周知等をしていませんでした。その結果、安全委員会に連絡がされることなく、警察が出動しました。

来年度は、ビラや放送、声かけ等を行い、参加団体だけでなくその他の大学祭参加者、来場者への周知を行います。また、所在不明の荷物に関しては安全委員会の者が数分待機し、それでも持ち主が現れない場合は落とし物として大学祭本部に届ける等の対策強化に努めます。

〈3〉ごみの分別、ごみ箱の管理について

大学祭期間中、来場者用仮設ごみ箱は5分別としていましたが、特に可燃・不燃ごみに関して分別できておらず、参加団体の方や委員が再分別するということが頻発してしまいました。参加団体に対しての周知は行っていましたが、来場者に対して、分別の基準をわかりやすく示すことができていなかったことが原因であると考えられます。来年度以降は参加団体だけではなく、来場者に対しても正しい分別を呼び掛けに努めます。

また、来場者の増加に伴い、ごみ箱の管理を担当していた団体の負担が大きくなってしまいました。来年度はごみ箱の数、配置等について再検討します。

〈4〉大学構内の汚損・破損について

例年問題となっている敷石の汚損への対策として、今年度も模擬店の下に、油の使用団体にはブルーシート・ビニールシート・段ボールで、油を使用しない団体にはビニールシート・段ボールを使用し、養生を行いました。また、油等で段ボールが汚れている団体には段ボールを取り換えるよう団体に呼び掛けました。そのため、模擬店が設置されている場所付近にはあまり目立った汚損は見られませんでした。しかし、来場者が飲食物をこぼしたと思われる汚損や参加団体が廃油を運搬する際に生じたとみられる汚損は散見されました。

こうした事案に対する対策として、飲食物をこぼすリスクが高まる「食べ歩き」の禁止、また廃油に関しては一斗缶の容量の8割以上を入れないことや、一斗缶の蓋をきちんと閉め、慎重に運ぶことを周知・徹底していきます。

〈5〉大学施設の汚損・破損について

壁紙や天井の表面が養生テープによって剥がれてしまった施設が何件かあったため、来年度以降は天井への装飾を禁止とし、壁から養生テープを剥がす際には慎重に剥がしていただくよう周知を徹底していきます。

企画によって、大学の備品にへこみや傷ができてしまいました。また、備品の使い方の周知が不十分だったこともあり、危険な使い方をしていた団体が見られました。

大学から借りている施設・備品に汚損・破損があった場合、来年度以降その施設を使用できなくなる可能性があります。各団体で責任をもって施設の原状復帰や維持・管理の徹底に努めるよう周知を行っていきます。

〈6〉 駐車・駐輪規制について

1 1号館・12号館を使用するにあたって、駐輪規制区域であるにも関わらず付近に自転車が停められていました。その場所に関しては例年情報宣伝をしていませんでしたが、大学祭の企画で使用するため、来年度以降は情報宣伝を行い自転車を撤去します。

また、今年度に関しては直前で8号館・9号館前に工事のための柵が設置されたため例年フリーマーケット参加団体で使用していた商品や荷物の搬入出経路が使用できず、代わりに9号館の駐輪場を経路として使用しました。来年度は工事等を考慮しつつ自転車撤去の対象場所を確定し、事前に情報宣伝と撤去を行います。

大学祭関係車両の入退構に関して申請で、申請外の参加団体の車両が東門の守衛から許可証を受け取って入構することがありました。来年度は守衛との事前の情報共有をより徹底します。

2. その他

◆今後の会議

会議の日時・場所はすべて予定です。ご了承ください。詳細は決まり次第、大学祭実行委員会からお知らせします。お知らせ方法は p. 37 「会議のお知らせ方法」をご確認ください。

会議に関する連絡は第19回みやこ祭の代表者にメールでします。引き継ぎ等で代表者を変更する場合はご注意ください。またそれに伴い連絡先を変更する場合は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。団体内での情報の共有をよろしく申し上げます。

【大学祭総会】

*第1回 大学祭総会

日 時：2024年度5月上旬予定

場 所：未定

メールアドレス：mepo.jimukyoku19th@gmail.com

(右の QR コードからも読み取れます)



◆会議のお知らせ方法

第19回みやこ祭への参加申請をした団体には、各会議のお知らせをメールで送信します。

同時に、大学祭総会およびみやこ祭参加準備会議では、みやこ祭公式ホームページやみやこ祭公式 X (旧 Twitter) によってもお知らせします。都度の確認やフォローをよろしくお願いします。

【みやこ祭公式ホームページ】

URL : <http://miyakomatsuri.com>

(右の QR コードからも読み取れます。)



【みやこ祭公式 X (旧 Twitter)】

アカウント名 : 東京都立大学大学祭実行委員会めぼ

ユーザー名 : @miyakomatsuri

URL : <https://twitter.com/miyakomatsuri>

(右の QR コードからも読み取れます。)



2023年度 第3回 大学祭総会 資料

発行 東京都立大学南大沢キャンパス大学祭実行委員会

所在 学生ホール206 大学祭実行委員会室

連絡先 mepo.jimukyoku19th@gmail.com

(右のQRコードからも読み取れます)

HP <http://miyakomatsuri.com>



メール



HP